



うるおいと活力あふれる

「城下町・おだわら」の創造に向けて

わたしたちのまち小田原は、間近になった二十一世紀社会の到来に向けて、昭和六十一年に策定した「おだわら21世紀プラン」を道標としてまちづくりを進めています。この「おだわら21世紀プラン」もその前期の基本計画が、本年度をもって、計画期間を満了します。

そこで市では、昨年度から「市民アンケート調査」や「市民集会」を始めとし、市民のみなさんの要望やご意見をお聞きしながら、後期基本計画の策定作業を進めてきました。

このたび、後期基本計画の行政原案がまとまりましたので、この特集号を通じて、市民のみなさんにその概要をお知らせいたします。

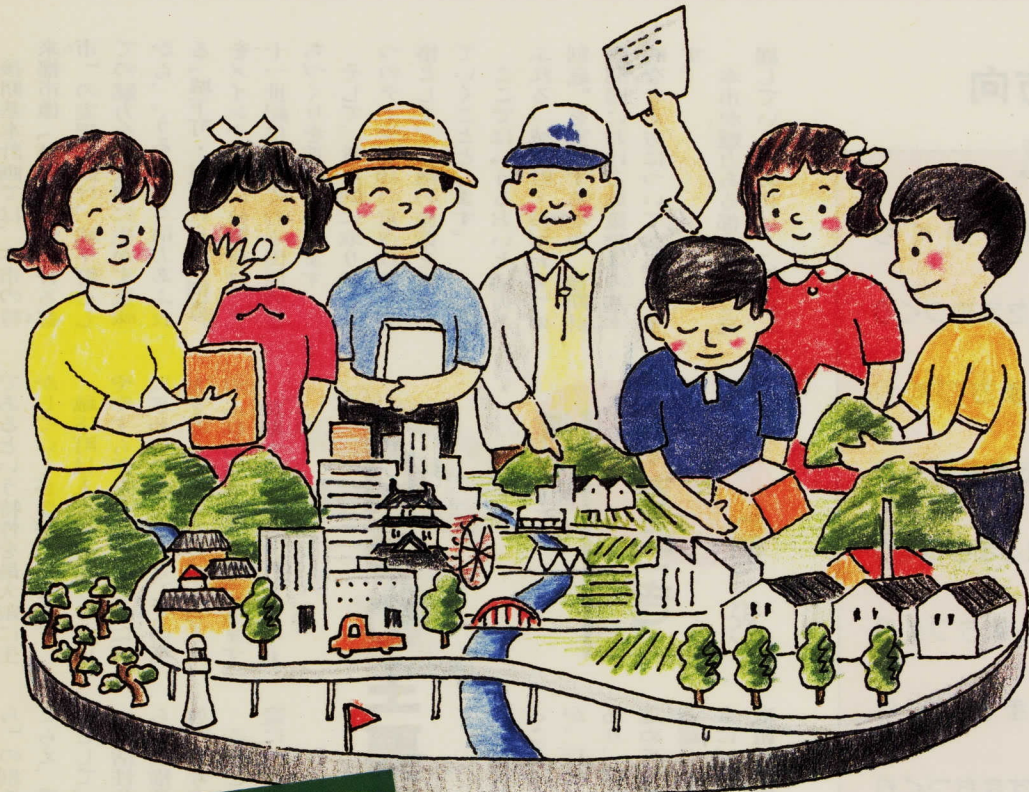
この行政原案については、市民集会等でご説明するとともに、市民のみなさんのご意見をお聞きし、さらに調整の上、行政案としてまとめていく予定であります。

市民集会及び手紙による提言などに積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

今回の基本計画は、西暦二千年（平成十二年）を目標年次とする「おだわら21世紀プラン」の後期の計画で、計画期間は平成五年度から十二年度までの八年間となっております。

紙面の構成は、次のようになっておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

* 後期基本計画の考え方	2～3面
* 前期基本計画のあゆみ	2～3面
* 後期基本計画の構成内容	4～5面
* 昨年の市民集会での意見	5面
* 地域別計画の概要	6～7面
* 市民アンケート調査結果	7面
* 市民集会のお知らせ	8面



おだわら21世紀プラン

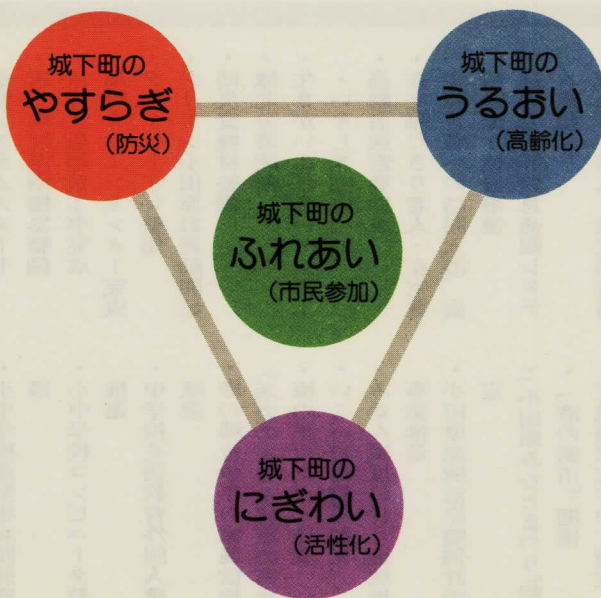
後期基本計画策定作業すすむ

(平成5～12年度)

後期基本計画における4つの主要テーマ

メインテーマ

“うるおいと活力あふれる「城下町・おだわら」の創造”



「城下町・おだわら」の創造という面から施策をとらえ、「防災・高齢化・活性化」を主要テーマとして位置づけ、これら施策の推進を「市民参加」により図ろうと考えております。

第一に、自然災害から市民の生命、財産を守るため、災害に強いまちづくりを進めることが最大の急務であると考えます。

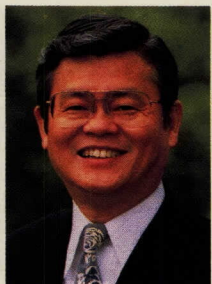
第二に、超高齢社会の到来を目前に控え、社会環境や人々の価値観の変化に対応できるように、人生八十年型社会の構築に向けたまちづくりが必要となります。

第三に、本市の魅力である城下町としての観光資源の充実を図りつつ、産業の振興と市街地の整備を図る必要があります。

第四に、そうした施策を進めていく上では、市民と行政とが車の両面となって取り組んでいくことが重要であると考えます。

「きらめく城下町」を築くために

小田原市長 小澤良明



展を続けてまいりました。しかし、都市の魅力づくりという視点から小田原のまちを見直した時、それら優れた条件を十分に生かし切っていない面があると感じております。

私は「城下町」であることが小田原のまちの魅力であり、あの天守閣の雄姿が「小田原のイメージの原点」だと思えます。

そうした視点に立ち、後期で

わたしたちのまち・小田原は、恵まれた自然風土、豊かな歴史的文化遺産、優れた交通立地条件を背景に、これまで着実な発

展を続けてまいりました。

私は「城下町」であることが小田原のまちの魅力であり、あの天守閣の雄姿が「小田原のイメージの原点」だと思えます。

そうした視点に立ち、後期で

施策推進の基本的方向

後期基本計画における基本的方向

4つの主要テーマ

城下町の
やすらぎ
(防災)

城下町の
うるおい
(高齢化)

城下町の
にぎわい
(活性化)

城下町の
ふれあい
(市民参加)

10の重点政策

- 災害に強い安全なまちづくり
- 恵まれた自然環境と調和したまちづくり
- 思いやりのある福祉のまちづくり
- 歴史的文化遺産を生かしたまちづくり
- 女性や青少年が活力にあふれるまちづくり
- 地域産業が力強く発展するまちづくり
- 便利で快適な住み良いまちづくり
- 地域の均衡ある発展を目指すまちづくり
- 21世紀社会を展望したまちづくり
- 市民参加による市民主体のまちづくり

後期基本計画では、本市の将来都市像「歴史と文化の香る都市」の実現に向け、城下町としての魅力を最大限に生かす意味から、うるおいと活力あふれる「城下町・おだわら」の創造をメインテーマに位置付け、二十一世紀に向けての小田原のまちづくりを進めていきます。

そして、重点的に取り組む4つのテーマと10の重点政策を骨格として、各種の施策を推進していくこととします。

ここでは、うるおいと活力あふれる「城下町・おだわら」の創造を実現するため、後期計画期間における施策推進の基本的な考え方についてお示しします。

本市が魅力ある都市として発展していくためには、「城下町」

であるという特性を最大限に生かしていく必要があります。

城下町は人々の心にするおいややすらぎを与え、ともに、にぎわいのあるまちとしての活力を有し、そうした中から人々のふれあいも育まれていきます。

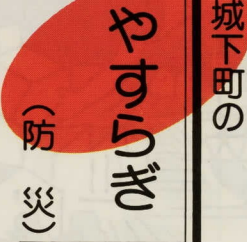
後期では、「城下町・おだわら」の創造という面から施策をとらえ、重点的に取り組むテーマとして、「防災」・「高齢化」・「活性化」を位置付け、それら施策推進を図るため「市民参加」を考えていきます。

こうした視点は、あらゆる施策について必要となつてきます。

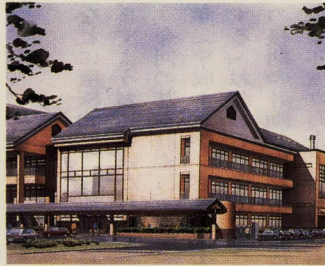
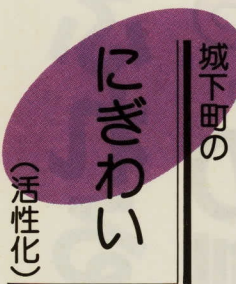
「城下町のやすらぎ」の創造という面から施策をとらえ、重点的に取り組むテーマとして、「防災」・「高齢化」・「活性化」を位置付け、それら施策推進を図るため「市民参加」を考えていきます。

こうした視点は、あらゆる施策について必要となつてきます。

4つの主要テーマ



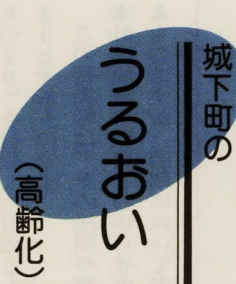
自然災害から生命、財産を守ることは極めて重要な問題ですが、行政の取組だけでは限界があり、災害に強いまちづくりを進めていくためには、行政による総合的な防災対策の推進とともに、市民の自主防災活動への取組が重要な課題となります。



生きがいふれあいセンター・いそしぎ

超高齢社会の到来が予想される中、社会環境や人々の価値観の変化に対応できる社会システムの構築が必要となります。

そこで、人生八十年型社会に対応した総合的な福祉対策の確立と生涯学習活動の推進が求められています。



防災対策の強化 (防災訓練)

二十一世紀に向けての理想的な地域社会を形成していくためには、市民と行政との協働によるまちづくりが必要となります。

そのため、住民の意見が十分に反映された施策の展開が図れるよう、市民参加システムの確立が求められています。



商店街のにぎわい

道路、公園、下水道、スポーツ・文化施設等の都市基盤整備に努め、県西地域の中核都市としての「城下町・おだわら」の都市の魅力高めるとともに、地域産業振興に向けての長期的視点に立った経済基盤の整備・強化が必要となっています。

前期計画のあゆみ (昭和61年～平成4年)

- ここでは、前期基本計画に基づく実施事業のうち、完了あるいは継続している主な事業を「おだわら21世紀プラン」の四つの柱ごとに紹介し、前期におけるプランの歩みを振り返ってみます。
- 《人間のまち小田原の再生》
- 保健センター完成
 - 休日急患診療体制確立
 - 市立病院コンピュータ医事情報システムスタート
 - 市立病院医療機器整備
 - 清掃工場増設工事完成
 - 扇町クリーンセンター完成
 - クリーントイレ整備
 - クリーン小田原21運動開始
 - 防災資機材整備
 - 城北分署開所
 - 生きがいふれあいセンター・いそしぎ完成
 - 高齢者医療費助成
 - 在宅寝たきり老人・在宅重度障害者への訪問入浴、歯科診療・検診事業
 - 独居老人等緊急通報システム開始
 - 寝たきり老人・重度障害者介護者支援
 - ケアセンター事業
 - さわやかエプロンサービス事業開始
 - 痴呆性老人通所サービス事業
 - 在宅介護支援センター事業
 - 障害者施設等通所者交通費助成
 - 豊川・上府中保育園新園舎完成
 - ひとり親家庭等医療費助成事業
- 《文化のまち小田原の再興》
- 小田原城跡二の丸中堀住吉橋完成
 - 歴史的町名保存
 - 尊徳記念館完成
 - 「おだわら21生涯学習プラン」スタート
 - 関東学院大学小田原キャンパス開校
 - (仮称)県立自然系博物館建設促進
 - (仮称)図書館東館建設推進
 - 「小田原市史」刊行開始
 - 総合体育館建設推進
 - 城山陸上競技場グックアウト完成
 - 上府中公園小田原球場完成
 - 下曾我小学校校舎改築完成
 - 三の丸小学校開校
 - 大窪小学校校舎改築着手
 - 小中学校運動場夜間照明整備
 - 小中学校コンピュータ教育推進
 - 中学校英語教育外国人講師派遣
 - 塔の峰青少年の家施設整備
 - 《活力のまち小田原の再建》
 - 梅の里センター完成
 - いこいの森整備拡充
 - みかん減反に伴う地域振興事業推進
 - 小田原地域沿岸整備計画策定
 - 「小田原みなとまつり」開催
 - 「港の朝市」開催
 - 工業振興ビジョン策定
 - 工業団地の整備推進
 - 伝統産業後継者育成奨励金制度発足
 - 小田原駅西口東町線鉄道立体交差完成
 - 下曾我駅東西自由通路完成
 - 小田原駅周辺再開発事業推進
 - 鴨宮駅北口再開発計画整備基本計画策定
 - 都市景観形成モデル地区プラン策定
 - 辻村植物公園整備

後期基本計画

10の重点政策

後期基本計画における4つの主要テーマ『防災』・『高齢化』・『活性化』・『市民参加』を受け、後期において重点的に取り組む施策としては、次の10の重点政策を位置付けています。

1 災害に強い安全なまちづくり

行政にとって、自然災害から市民の生命、財産を守ることは極めて重要な問題であることは言うまでもありません。近年、東海地震や神奈川県西部地震の発生が懸念されていることから、災害に強いまちづくりを進めることが本市にとって最大の急務であります。

2 恵まれた自然環境と調和したまちづくり

本市は、温暖な気候と山、川、海に代表される自然環境に恵まれた水と緑あふれる快適な都市条件を備えています。近年叫ばれている世界規模での環境問題を地域の課題としてとらえ、豊かな自然環境を保全し、次代を担う子供たちに資産として残していくのが我々の責務であります。

3 思いやりのある福祉のまちづくり

本市においても、二十一世紀前半には五人に一人が六十五歳以上という超高齢社会の到来が魅力あるまちとして印象づける本市のシンボルであり、「城下町・おだわら」のイメージの原点となっております。

4 歴史的文化遺産を生かしたまちづくり

本市は、長い歴史に裏打ちされた歴史的遺産が数多く存在しています。なかでも小田原城は、小田原

6 地域産業が力強く発展するまちづくり

ゆとりと豊かさのある市民生活を実現するには、バックボーンとなる産業振興が必要であることは言うまでもありません。そこで、本市の活力ある産業の発展のため、工業団地の整備など経済基盤の整備・強化に力を注ぐとともに、伝統ある地場産業や中小企業の着実な発展、

7 便利で快適な住み良いまちづくり

便利で快適な都市環境を形成するためには、その前提として交通網の整備を始めとする都市機能の高度化が必要となります。交流を促す交通網については、

8 地域の均衡ある発展を目指すまちづくり

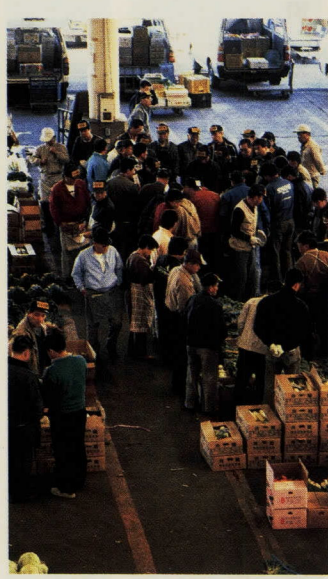
道路、公園、下水道を始め、文化施設やスポーツ施設などの公共施設は、地域バランスを図りながら充実させていく必要があります。そこで、後期では新たに地域別計画を策定し、それぞれの地域が持っている特性を最大限に引き出し、二十一世紀に向けて理想的な地域の姿を地域住民と行政との共通理解、共通のイメージの下に実現させ、均衡ある地域社会の発展を目指します。

9 21世紀社会を展望したまちづくり

前期基本計画において新たな行政課題として提起した「高齢社会」「国際交流」「女性の社会参加」「高度情報化」について、後期ではその具体的な展開を図るとともに、後期での新たな行政課題としては、地球環境問題へ

10 市民参加による市民主体のまちづくり

これからの行政サービスは、均一的かつ効率的なサービス供給から、多様で質の高いサービスをいかに効果的に供給するかへと内容が変化してきています。そこで、市民の求める多様なサービス、快適な暮らしの形成に適切に対応するため、市民参加を基本としたまちづくりを推進するとともに、市民の声を反映しやすい体制づくりや職員意識づくりに取り組みなど、市民参加システムの確立に努めます。



青果市場のせり風景

都市型農業の振興、小田原の海業の確立などに取り組みます。

さらに、良好な住環境の形成に向け、土地区画整理事業等の推進を図ります。

前期の重点事業

6 プロジェクト

1 レクリエーションゾーンの形成

・辻村植物公園開設

・いこいの森整備

・フラワーカーテン建設推進

・小田原城跡の整備

・小田原城跡二の丸中堀整備

・石垣山一夜城歴史公園整備

・南北道路・環状道路の整備

・小田原大井線計画決定

・六部国府津線整備

・成田・桑原地区の事業化

・羽根尾地区・小竹地区開発計画決定

・小田原駅周辺の再開発

・小田原駅東口お城通り地区再開発事業推進

・小田原駅東西自由通路建設準備

・栄町二丁目大乗寺周辺地区再開発事業推進

・6 市民施設の配置

・尊徳記念館、保健センター、生きがいふれあいセンター

・いそしき、小田原球場完成

・(仮称)図書館東館、総合体育館、(仮称)川東タウ

ンセンター建設推進

・くらしのテレフォンガイド

・動く市政教室

・公文書公開制度(行政情報センター設置)

・個人情報保護制度

・(仮称)川東タウンセンター建設準備

・シルバー人材センター設立

・海外姉妹都市学生派遣

・二宮尊徳生誕二百年祭開催

・ときめき小田原まつり開催

・市制施行五十周年記念イベント(平成2年～3年実施)

・小田原合戦四百年記念イベント(平成2年～3年実施)

・国際交流祭(平成3年実施)

3 基金

◇自然保護と緑化、そして、都市美づくりのための「ふるさとみどり基金」

※積立額7億3137万円

◇心のうらおいと郷土愛を醸成し、歴史文化の継承と新しい文化の創造のための「ふるさと文化基金」

※積立額6億5416万円

◇思いやりの心で共に助け合う、地域福祉活動の総合的な発展を推進するための「社会福祉基金」

※積立額7億3488万円

(積立額は平成三年度末現在)

4 大イベント

市民としての共通意識を基盤に、対外的にも宣伝効果の高い、本市の個性が発揮できる新しい行事を「4大イベント」として設定し、実施しました。

◇尊徳生誕二百年祭(昭和62年～63年開催)

◇ときめき小田原まつり

◇市制施行五十周年記念イベント(平成2年～3年実施)

◇小田原合戦四百年記念イベント(平成2年～3年実施)

◇国際交流祭(平成3年実施)

◇小田原球場完成

◇いそしき、小田原球場完成

◇(仮称)図書館東館、総合体育館、(仮称)川東タウ

ンセンター建設推進

◇くらしのテレフォンガイド

◇動く市政教室

◇公文書公開制度(行政情報センター設置)

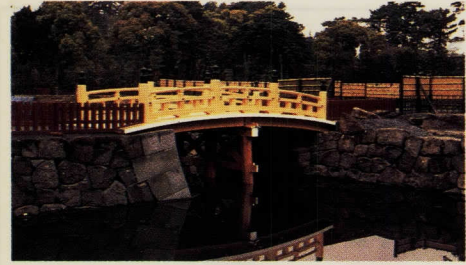
◇個人情報保護制度

◇(仮称)川東タウンセンター建設準備

◇海外姉妹都市学生派遣

◇二宮尊徳生誕二百年祭開催

◇ときめき小田原まつり開催



二の丸中堀住吉橋

5 女性や青少年が活力にあふれるまちづくり

男女が平等な立場で充実した人生を送ることが出来る男女共同社会の創造を目指し、総合的な女性行政を推進します。また、健全な青少年の育成のため、学校週五日制への対応や



地域と一体となったりサイクル運動

市民スポーツの振興を図るなど、世代を超えて交流できる環境づくりに努めるとともに、すべての世代が生涯にわたって、学ぶことができる学習社会を創造していきます。

おだわら 21世紀プラン



まちづくりへの市民の声

—昨年度の市民集会から—

- 昨年の市民集会では、市民のみなさんから小田原のまちづくりに対する貴重なご意見、ご要望をいただきました。その中のいくつかをここで紹介します。
- ◆ 森林・緑地**
 - ・ふるさとを大切にす意味で、自然を大切にされた地域開発を。
 - * 河川**
 - ・河川の親水機能の向上を。
 - ・集中豪雨に耐える河川改修を。
 - * 海・浜**
 - ・海岸の浸食が著しい。海岸線の住民の安全を考えた対策を。
 - * 防災**
 - ・地震発生時の観光客の避難誘導等の対策を。
 - ・地震発生時の対応について、
 - ◆ 飲料水確保を始め市民と行政とが一体となった対策を。**
 - ・災害に強い小田原を計画にもつと色濃く出すべき。
 - * 消防・救急**
 - ・橋地域への消防分署の開設を。
 - * 公害防止**
 - ・広域的な地下水保全の検討を。
 - * 高齢者福祉**
 - ・高齢社会に対応した在宅福祉制度の充実と老人福祉施設を。
 - * 市民文化**
 - ・文化会館の整備を。
 - * 市民スポーツ**
 - ・青少年のスポーツ活動を積極的に促進する方法の検討を。
 - * 学校教育**
 - ・学校週五日制の導入に向け、
 - ◆ 地域と一体となった施策を。**
 - ・子供達に本市の歴史や伝統を継承するなど教育面の対応を。
 - * 青少年健全育成**
 - ・昼間働く女性のために、学童保育の充実を。
 - * 公園**
 - ・人と緑のふれあいを考えた公園づくりをプランの中に。
 - * 下水道**
 - ・生活排水による環境汚染対策として下水道の整備推進を。
 - * 商業**
 - ・活性化に向けての施策展開を。
 - * 工業**
 - ・工業団地整備により、財政面から、また、市民の就職の場としての優良企業の誘致を。
 - * 観光**
 - ・観光面でのPRが不足している。観光客増加を図る施策を。
 - * 市街地整備**
 - ・小田原駅東西自由通路の早期実現を。
 - * 駐車場対策をプランの中に。**
 - * 地域活動**
 - ・地域の特性にあったプランを。
 - ・人生八十年社会に対応した生涯学習の場としての施設を。
 - * 男女共同社会づくり**
 - ・女性の地域活動意識が高まっている。まちづくりに女性の意見の反映を。
 - * 環境にやさしいまちづくり**
 - ・ごみ焼却の余熱利用施設を。
 - ・地域・学校関係・業者・行政が連携し一体となった資源のリサイクルを。

歴史と文化のまち小田原の再興

人間のまち小田原の再生

- 自然環境の保全と活用
- 健康で安全な住環境の形成
- 総合的な福祉政策の展開

文化のまち小田原の再興

- 歴史的環境と文化遺産の整備活用
- 市民交流と文化活動の推進
- 次代を担う青少年の育成

後期基本計画に「うるおいと活力あふれる」

メインテーマ

《4つの主要テーマ》

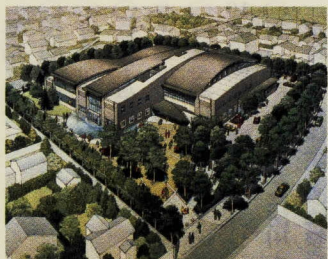
- * 城下町の『やすらぎ』 (防災)
- * 城下町の『うるおい』 (高齢化)
- * 城下町の『にぎわい』 (活性化)
- * 城下町の『ふれあい』 (市民参加)

| | | | | | |
|--|---|--|-------------------------------------|---|--|
| 森河海都
林市緑
地川浜
地川浜
地川浜 | 防消交保医ご環公住
防通
安全
救防
救防 | 高障児生勤地社同
齢害者者福
者者者福
者者者福
者者者福 | 史跡・文化財
小田原城跡整備、御鐘ノ台整備計画策定 | 市市民ス
民民ス
民民ス
民民ス | 学幼青
校校少
保保年
健健
育育 |
| 化：街路樹植栽等公共緑化の推進
浜：砂浜浸食防止・復元事業促進
川：準用河川・普通河川・排水路整備
地：森林保全、レクリエーションゾーンの形成 | 宅：浅原住宅・川端住宅建替
止：地下水保全対策、公害防止思想啓発
生：クリーントイレ整備、斎場整備
理：ごみ処理施設整備、最終処分場整備
療：救急医療体制の充実、市立病院の充実
健：保健管理システム、老人訪問看護
急：自転車駐車場整備、防犯灯設置
災：消防本部・署庁舎建設、救急業務拡充
自主防災組織強化、防災情報システム | 策：人権問題啓発活動
險：国民健康保険給付内容充実
社：地域保健福祉サービスマシ調整機構設置
社：勤労者生活資金融資、勤労者共済制度
社：生活保護事務処理電算化
社：公立保育園整備、民間保育園補助
社：社会参加の促進、訓練・指導体制充実
社：特養ホーム建設補助、在宅福祉充実 | 小田原城跡整備、御鐘ノ台整備計画策定 | 総合体育館等団体関連施設整備
生涯学習人材バンク、シルバード大学
(仮称)図書館東館建設、市民会館建替推進 | 青少年施設整備、留守家庭児童対策
園舎地震対策等施設整備
小児成人病検診、ランチルーム整備
大窪小・三の丸小整備、学校週五日制対応 |

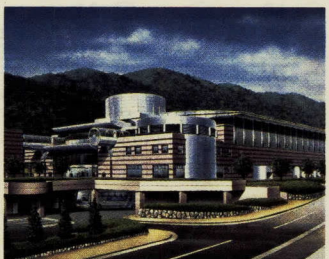
○片浦地域 ○中央地域 ○富水・桜井地域



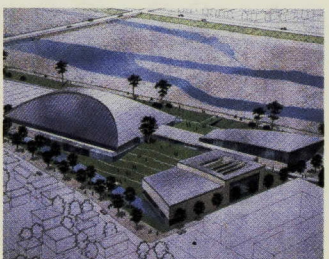
消防本部・署庁舎完成予想図



(仮称) 図書館東館完成予想図



(仮称) 県立自然系博物館完成予想図



総合体育館完成予想図

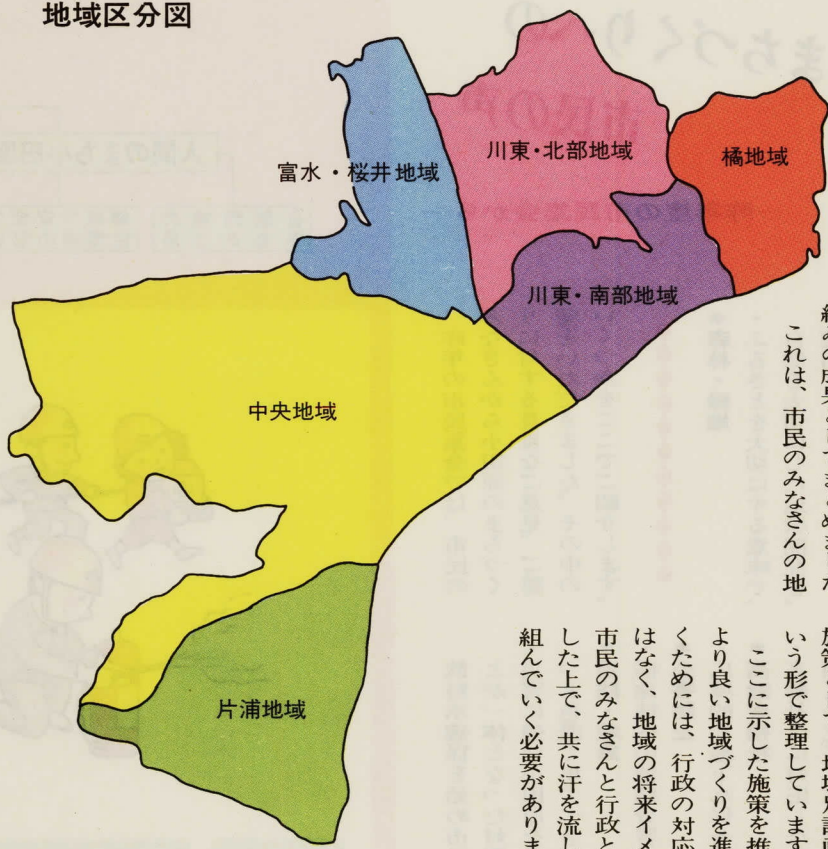


整備が進む上府中公園

地域別計画原案の概要

—地域の特性を生かした整備を—

地域区分図



後期基本計画では、全市的に対応する施策のほか、新たに、市民のみなさんが住むそれぞれの地域の特性を生かした今後の整備の方向性を示す地域別計画を策定し、基本計画の中に盛り込む予定です。

なさんが日常生活されている地域を六つに区分し、それぞれの地域の特性を生かした今後の整備の方向性を示す地域別計画を策定し、基本計画の中に盛り込む予定です。

域における活動と関心の高まりを基盤に、地域カルテの作成や市民のみなさんの意見を参考にしながら、地域の将来イメージを構築するために作成したもので、今回の計画策定作業に際しても、これら成果を十分に踏まえた上で、それぞれの地域の将来イメージを具体化するための施策として、地域別計画原案という形で整理しています。

ここに示した施策を推進し、より良い地域づくりを進めていくためには、行政の対応だけではなく、地域の将来イメージを市民のみなさんと行政とが共有した上で、共に汗を流し、取り組んでいく必要があります。

中央地域

▼地域の方向性

豊かな自然環境に囲まれ、伝統と新しい文化が調和した城下町の雰囲気漂うとともに、本市の中心地域として都市機能が充実した魅力ある都市空間の創出を目指します。

▽計画

- 1 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 2 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 3 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 4 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 5 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 6 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 7 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 8 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 9 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 10 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 11 小田原駅前等シンボルゾーンの整備
- 12 小田原駅前等シンボルゾーンの整備



小田原駅周辺

富水・桜井地域

▼地域の方向性

尊徳生誕の地として清らかな川や緑豊かな田園風景を守り育てながら、都市機能が整備された活力とゆとりが感じられる地域の形成を目指します。

▽計画

- 1 良好な住宅地の形成
- 2 良好な住宅地の形成
- 3 良好な住宅地の形成
- 4 良好な住宅地の形成
- 5 良好な住宅地の形成
- 6 良好な住宅地の形成
- 7 良好な住宅地の形成
- 8 良好な住宅地の形成
- 9 良好な住宅地の形成
- 10 良好な住宅地の形成
- 11 良好な住宅地の形成
- 12 良好な住宅地の形成



尊徳記念館

片浦地域

▼地域の方向性

豊かな自然環境を保全し、農林漁業の振興との調和を図りながら、地域の有効な土地利用を進めるとともに、良好な地域の人間関係を保ち続けることによって、うるおいとやすらぎを求める人々が、訪れ、居住する地域の形成を目指します。

▽計画

- 1 みかんの里づくり
- 2 みかん減反跡地の活用
- 3 森林の保全
- 4 海岸の多面的活用と地域水産業の振興
- 5 河川環境の向上
- 6 歴史文化の高揚
- 7 道路網の整備
- 8 生活の利便性の向上
- 9 地域活動の推進
- 10 砂防河川の整備推進



江之浦から見る小田原の海岸線

川東・南部地域

▼地域の方向性

川東地域における中心地として、都市機能が整備され、良好な環境の住宅地や活力ある商業地、景観に配慮した工業地が共存する、生き生きとした地域の形成を目指します。

▽計画

- 1 公共施設の整備
 - (仮称)川東タウンセンター、(仮称)図書館東館、消防本部・署庁舎建設
 - 保健センター及び生きがいふれあいセンター・いそぎの機能充実
- 2 良好な住宅地の形成
 - (仮称)川東タウンセンター、(仮称)図書館東館、消防本部・署庁舎建設
 - 公共下水道の整備
 - 駅周辺の整備
 - 鴨宮駅北口周辺再開発推進
 - 国府津駅自転車駐車場整備と行政サービスコーナー設置
 - 工業地周辺環境の向上
- 3 緑化や周辺環境の向上促進
 - 5公園の整備
 - 身近な公園の整備
 - 6道路網の整備
 - 穴部国府津線の整備促進
 - 酒匂曾我線の整備
 - 生活関連道路の整備
 - 新酒匂橋の完成促進
 - 7河川環境の向上
 - 酒匂川を始めとした河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 親水機能の向上
 - 酒匂川左岸の複合スポーツ・レクリエーション空間の形成
 - 8海岸の保全
- 4 親水機能の向上
 - 親水機能の向上
 - 9地域活動の推進
 - (仮称)川東タウンセンターにおける住民主体の運営検討



鴨宮駅北口まちづくりイメージ図

川東・北部地域

▼地域の方向性

田園風景や曾我丘陵の緑と良好な住宅地、そして公害がなく景観に意を配した工業地帯とが調和した、のどかでいこいというおおいが感じられる地域の形成を目指します。

▽計画

- 1 梅の里づくりの推進
 - 観光レクリエーション機能の向上と生産基盤の整備
 - 梅の里センターの多面的活用
 - 2スポーツ・レクリエーションの場の形成
 - 上府中公園整備
- 2 観光行事の充実
 - 地域観光行事の支援
 - 4農業と住環境の調和
 - 既存集落の整備と優良農地の保全
 - 5工業団地の整備
 - 成田・桑原地区工業団地整備
 - 鬼柳・桑原地区工業団地整備
 - 8地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 3 生活関連道路の整備
 - 曾我丘陵中腹の農道整備
 - 穴部国府津線の事業推進に向けた酒匂川新架橋の整備促進
 - 7河川環境の向上
 - 酒匂川を始めとした河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 親水機能の向上
 - 8地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 4 公共下水道の整備
 - 成田・桑原地区工業団地整備
 - 鬼柳・桑原地区工業団地整備
 - 8地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 5 周辺整備
 - 5地域文化の高揚
 - 相模人形芝居下中座の継承
 - 羽根尾の横穴古墳の保存
 - 6道路網の整備
 - 県道松田羽根尾線のバイパス建設の促進
 - 生活関連道路の整備
 - 7海岸の保全
 - 海岸の浸食防止及び災害防止のための整備促進
 - 親水機能の向上
 - 8河川環境の向上
 - 中村川ほか河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 9地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進



梅の里センター

橘地域

▼地域の方向性

豊かな緑の中に生産環境と住環境が整備され、コミュニティ活動が活発に行われ、のどかな田園風景に新しい町並みが溶け合った明るく暖かみのある地域の形成を目指します。

▽計画

- 1 農業と住環境の調和
 - 地域農業の振興に向けた経営の近代化と農業基盤の充実
 - 土地地区画整理事業の推進
 - 2生活環境の整備
 - 公共下水道の整備
 - 消防分署の建設
- 2 周辺整備
 - 5地域文化の高揚
 - 相模人形芝居下中座の継承
 - 羽根尾の横穴古墳の保存
 - 6道路網の整備
 - 県道松田羽根尾線のバイパス建設の促進
 - 生活関連道路の整備
 - 7海岸の保全
 - 海岸の浸食防止及び災害防止のための整備促進
 - 親水機能の向上
 - 8河川環境の向上
 - 中村川ほか河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 9地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 3 生活関連道路の整備
 - 曾我丘陵中腹の農道整備
 - 穴部国府津線の事業推進に向けた酒匂川新架橋の整備促進
 - 7河川環境の向上
 - 酒匂川を始めとした河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 親水機能の向上
 - 8地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 4 公共下水道の整備
 - 成田・桑原地区工業団地整備
 - 鬼柳・桑原地区工業団地整備
 - 8地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進
- 5 周辺整備
 - 5地域文化の高揚
 - 相模人形芝居下中座の継承
 - 羽根尾の横穴古墳の保存
 - 6道路網の整備
 - 県道松田羽根尾線のバイパス建設の促進
 - 生活関連道路の整備
 - 7海岸の保全
 - 海岸の浸食防止及び災害防止のための整備促進
 - 親水機能の向上
 - 8河川環境の向上
 - 中村川ほか河川・排水路の水質保全、改修整備
 - 9地域活動の推進
 - 地域センターの整備推進

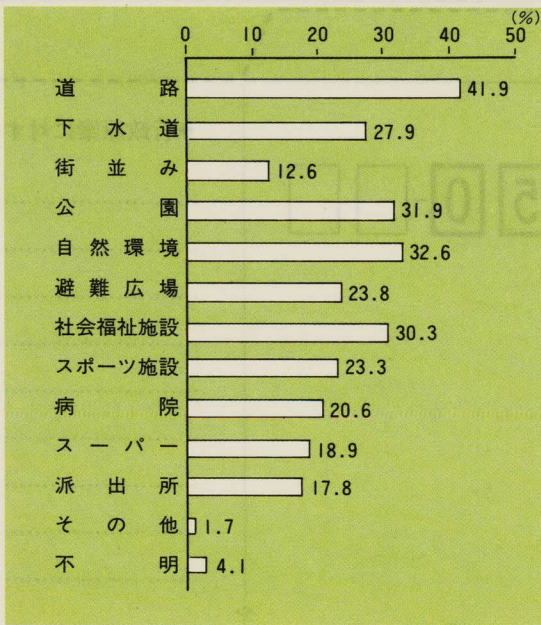


住環境の整備(橘団地)

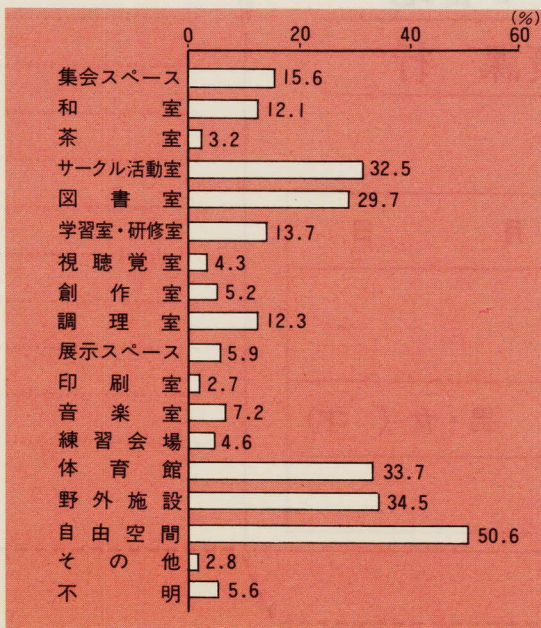
市民アンケート調査結果から

「地域の整備」について

市では、多くの市民のみならず、多くな市民参加の方法を実施し、ご意見を計画策定に反映させ、多様な市民参加の方法を実施し、市では、多くの市民のみならず、多くな市民参加の方法を実施し、ご意見を計画策定に反映させ、多様な市民参加の方法を実施し、



その中の一つとして、平成三年度には、「第8回市民アンケート調査」を実施し、計画策定に関連した質問項目を設け、まちづくりに対する市民のみならずの考え方を聞き取りました。そのうち、「地域の整備」に関連した質問のうち、「地域の整備」と「地域の拠点となる公共施設の整備」



地域の整備施策として、「道路」が41.9%と特に多く、次いで「緑の多い生活環境」「子供が遊べる公園」「社会福祉施設」が30%以上と多い。「道路」「社会福祉施設」が増加している。地域別にみると、全体の上位項目は「水道や排水路」が20代、30代に多く、「社会福祉施設」は50代、60代、70歳以上で多い。このほか、20代では「スポーツ施設」が40.6%と多く、50代では「下水道や排水路」が34.1%と多い。

地域別の視点となる公共施設の整備の在り方の希望をみると、「子供が遊べる自由空間」が特に多く、50.6%と半数を超えている。次いで「野外施設」「体育室」「サークル活動室」「図書室」が30%以上と多い。

年代別にみると、上位項目のうち「緑の多い生活環境」は20代、「子供が遊べる公園」は20代、30代に多く、「社会福祉施設」は50代、60代、70歳以上で多い。このほか、20代では「スポーツ施設」が40.6%と多く、50代では「下水道や排水路」が34.1%と多い。

地域別にみると、全体の上位項目が「下水道や排水路」が34.1%と多い。

